



先月園では、風邪症状でお休みするお子さんがたくさんいました。受診とお休みのご協力ありがとうございました。まだ残暑はありますが、朝夕は涼しくなってきたので、気温の変化で体調を崩さないようご注意ください。園での風邪症状の流行は落ち着いてきましたが、依然コロナウイルス感染症の流行が近郊でも続いています。引き続き発熱・咳等、風邪症状の際は、早めの受診、検査のご協力をよろしくお願い致します。

*****9月9日は救急の日*****

ケガに繋がらない備えをしましょう

- ・家庭内で起こりやすい事故として、誤飲があります。たばこの吸い殻・電池・薬等、危険なものは、子どもの手の届かない場所に保管することが基本です。
 - ・お風呂での溺水も多くバスタブに水をためたまにしない、浴室には鍵をかけるなどの対策が必要です。けして一人で浴室に入れないようお願いいたします。
 - ・子どもが今、どのくらいのことが出来るのかをよく知らないことから事故はおこります。ですから、自分の子どもの発育を知ることが最も大切です。(子どもは歩き始めると、走り出し、よじ登ったり、跳んだりとあっという間に成長し、いろいろなものに興味を持つようになります。)
- ※成長の著しい乳幼児期は一生のうちで最もケガの多い時期と言われています。しかしこの時期はまだ、自分で身を守ることはできないため、大人はいつも注意を払い、子どもを事故から守りましょう。



😊目をたいせつに😊

8月から9月にかけて、くま組・きつね組さんで視力測定を行っています。それを機会に、看護師から子ども達に目を大切にすることについてお話をさせて頂きました。お家では守れているでしょうか？

- ①前髪が伸びたらお家の人に切ってもらおうか、ピン止めで留めましょう。
- ②絵本を見るときは、本と顔を腕の長さくらい離しましょう。
- ③TVゲームや携帯ゲームは時間をきめて、続けて見ないようにしましょう。
- ④テレビをみるときは画面から(2m以上)離れて見ましょう。

一度視力が悪くなると、なかなか元には戻りません。お子さんの視力を守るために、ご自宅でもご指導をお願い致します。そのほか、本・テレビなどは明るいところのみる、目に異物が入ったりかゆみがある時は、こすらず洗い流したり冷やしたりするなど注意して頂きたいと思います。お子さんの視力を守るためにご指導をお願い致します。

